

通し番号	4687
------	------

分類番号	25-01-21-16
------	-------------

地場産畜産物に対する消費者の意識	
[要約] イベント会場の来場者への地場産農畜産物に関する調査票調査から、地場産農畜産物の良い点は「新鮮である」「安心である」「安全である」の順に多かった。各項目を年代、性別で比較しても有意差はなく、地場産に対する共通の価値意識と考えられた。また、地場産農畜産物の利用に関する回答から、パネルを地場農畜産物利用の積極層と消極層に分類し、食ライフスタイルに関する設問を5段階評価点で比較すると、積極層は「地域環境」「安全性」「栄養」「健康」に関する設問で関心が高く、消極層は「価格」に関心が高かった。	
神奈川県農業技術センター・畜産技術所	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

消費者の地場産畜産物に対する意識、消費行動から購買理由を解析することにより、消費者が求める地場産畜産物に対する価値を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 当所で実施したイベント来場者 200 名に対して、地場産農畜産物に対する良い点、食ライフスタイルの考え方、および牛肉の購買行動に関する設問を自記式調査票により回答してもらった。
- 2 集計は、全ての設問に回答した 30～60 歳代の男女で日常的に食材を購入する 140 名（男性 48 名、女性 92 名）を対象パネルとした（図 1）。
- 3 地場産農畜産物の良い点は「新鮮である」「安心である」「安全である」の順に多かった。また、各項目を年代、性別で比較しても有意な差はなく、「地場産」に対するイメージは性別、年代に関係なく共通の価値意識と考えられた（図 2、図 3）。
- 4 食ライフスタイルの「地場産の農畜産物を利用するようにしている」という設問で、「ややあてはまる」「あてはまる」と回答したパネルを（地場農畜産物利用の）積極層（98 名）、それ以外を消極層（42 名）として分類した。
- 5 積極層は牛肉購買時の重視点「国産である」「生産者名が表示している」「神奈川県産である」で有意に高い評価点であった（表 2）。
- 6 積極層は食のライフスタイルに関する設問で「地域環境」「安全性」「栄養」「健康」に関する設問で有意に評価点が高く、消極層は「価格」に関する設問で有意に高かった（表 3）。

[具体的データ]

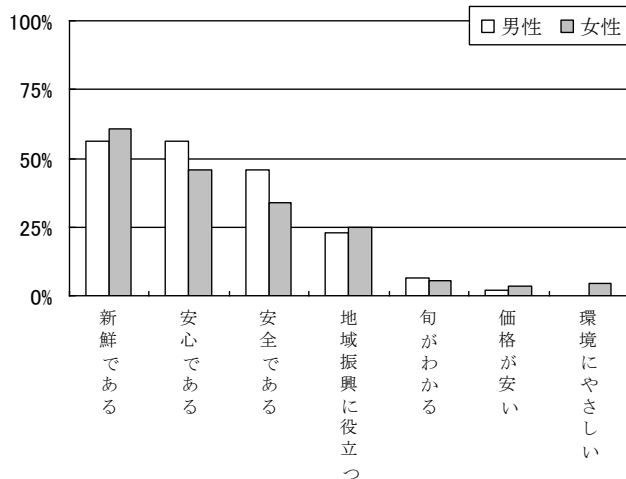


図2 地場農畜産物に対するイメージ (年代別)

表1 層別の属性

	地場農畜産物利用	
	積極層	消極層
男性	34名(71%)	14名(29%)
女性	64名(70%)	28名(30%)
年齢	40.9歳	40.2歳
同居家族員数	3.7名	3.6名

表2 各層の牛肉購買時の重視点

	地場農畜産物利用		U検定
	積極層	消極層	
国産である	<b>4.35</b>	3.79	***
パック内に肉汁が無い	4.34	4.12	n.s.
加工日が新しい	4.30	4.21	n.s.
価格の安さ	3.78	3.90	n.s.
生産者名が表示	<b>3.72</b>	3.45	*
ブランド名が表示	3.69	3.43	n.s.
全体の脂身の量が少ない	3.53	3.50	n.s.
神奈川県産である	<b>3.42</b>	3.07	**
赤身部分の霜降りが多い	2.98	3.12	n.s.

表3 食ライフスタイルに関する層間比較

因子	設問	地場農畜産物利用		U検定
		積極層	消極層	
地域環境	居住地周辺の田畑で何が作られているか興味がある	<b>4.24</b>	3.67	***
安全性	食品は国産を利用するようにしている	<b>4.37</b>	3.69	***
	農薬や添加物の使用が気になる	<b>4.30</b>	3.98	*
栄養	栄養のバランスには気をつけている	<b>4.17</b>	3.76	***
	野菜をたくさん食べるようにしている	4.17	4.14	n.s.
健康	健康に対する意識は高い方である	<b>4.07</b>	3.48	***
	健康にいいと言われる食材は積極的に使うようにしている	3.91	3.67	n.s.
価格	価格の安い食料品店を利用するほうである	3.56	3.86	n.s.
	お買い得品・セール品をよく買うほうである	3.79	<b>4.10</b>	*

\*:p<0.10 \*\*:p<0.05 \*\*\*:p<0.01 n.s.:有意差なし

\*:p<0.10 \*\*:p<0.05 \*\*\*:p<0.01 n.s.:有意差なし

[資料名] 平成25年度神奈川県農業技術センター畜産技術所試験研究成績書

[研究課題名] 消費者視点の畜産物評価に関する研究

[研究期間] 平成24~25年度

[研究者担当名] 引地宏二